

70 Years of History

70年の歩み

昭和30年（1955年）、二町二村が合併して誕生した秦野市。
市民の手によって育まれてきた伝統や文化を大切にしながら、幾多の出来事乗り越え、一步一步着実に歩みを進めてきました。



1 昭和30年（1955年）頃
市制施行当時の旧市庁舎



新市庁舎落成記念式典



2 昭和44年（1969年）
新市庁舎遠景

HADANO HISTORY
1955 >>> 2025

3 昭和56年（1981年）
東名高速道路秦野中井IC開通



4 昭和59年（1984年）
葉タバコ耕作に幕



5 昭和60年（1985年）
「秦野盆地湧水群」が全国「名水百選」に選定



6 平成元年（1989年）
まほろば大橋が完成



7 平成10年（1998年）
ロマンスカー秦野駅停車記念式典



8 平成14年（2002年）
秦野赤十字病院が立野台に新築移転



- 昭和30年（1955年）●1月1日 秦野町、南秦野町、東秦野村、北秦野村が合併し、秦野市が誕生 1
- 4月 大根村の一部が編入
- 7月 西秦野村と上秦野村が合併し、西秦野町が誕生
- 昭和33年（1958年）●市章を制定
- 昭和38年（1963年）●秦野市と西秦野町が合併
- 東海大学湘南校舎（現在の湘南キャンパス）が開校
- 昭和39年（1964年）●アメリカ合衆国テキサス州パサデナ市と姉妹都市提携を開始
- 昭和44年（1969年）●「市民憲章」を制定
- 新市庁舎が完成 2
- 昭和47年（1972年）●市の木「さざんか」、市の花「なでしこ」、市の鳥「うぐいす」を指定
- 「鳥もすめる環境都市宣言」を決議
- 昭和48年（1973年）●上智短期大学（現在の上智大学短期大学部）が開校
- 昭和50年（1975年）●人口が10万人に到達
- 昭和54年（1979年）●中央運動公園（現在のカルチャーパーク）が完成
- 昭和55年（1980年）●「市民の日」を制定
- 文化会館を開設
- 昭和56年（1981年）●東名高速道路秦野中井ICが開通 3
- 昭和58年（1983年）●東海大学との提携事業を開始
- 昭和59年（1984年）●長野県諏訪市と姉妹都市提携を開始
- 葉タバコ耕作が終了 4
- 昭和60年（1985年）●「秦野盆地湧水群」が環境庁（現在の環境省）の全国「名水百選」に選定 5
- 新図書館を開設
- 昭和61年（1986年）●「秦野市平和都市宣言」を制定
- 昭和62年（1987年）●大秦野駅は秦野駅に、大根駅は東海大学前駅に名称変更
- 葛葉緑地が、「かながわのナショナル・トラスト第1号」に指定
- 昭和63年（1988年）●日本たばこ産業秦野工場が開鎖
- 人口が15万人に到達
- 平成元年（1989年）●まほろば大橋が完成 6
- 平成2年（1990年）●秦野市水道事業100周年
- 桜土手古墳展示館を開設
- 平成5年（1993年）●渋沢駅が山小屋風の橋上駅舎となり、南北の自由通路も完成
- 平成8年（1996年）●総合体育館を開設
- 鶴巻温泉駅北口広場が完成
- 平成9年（1997年）●県立秦野戸川公園が一部開園
- 秦野駅北口広場にペDESTリアンデッキが完成
- 平成10年（1998年）●小田急線特急ロマンスカーが秦野駅に停車 7
- 保健福祉センターを開設
- 平成12年（2000年）●田原ふるさと公園が完成
- 平成13年（2001年）●弘法山公園内の権現山に展望台が完成
- 日帰り入浴施設「鶴巻温泉 弘法の里湯」を開設
- 宮永岳彦記念美術館を開設
- 平成14年（2002年）●秦野赤十字病院が立野台に新築移転 8
- 平成16年（2004年）●平成元年（1989年）に汚染が発覚した「秦野盆地湧水群」の名水復活を宣言
- 平成17年（2005年）●市制施行50周年
- 市の木「こぶし」と市の花「あじさい」を追加指定
- 大韓民国京畿道坡州市と友好都市提携を開始



9 平成19年(2007年)
全国で初めて市役所の敷地内にコンビニを誘致



11 平成25年(2013年)
はだのグリーンセンターが本格稼働



13 平成27年(2015年)
県内一長い桜並木の愛称を「はだの桜みち」に決定



15 令和2年(2020年)
はだの丹沢クライミングパーク開所式



17 令和3年(2021年)
はだのちきキッチンが完成



10 平成22年(2010年)
天皇皇后両陛下をお迎えした第61回全国植樹祭



12 平成25年(2013年)
第19回全国報徳サミット秦野市大会を開催



14 平成28年(2016年)
名水百選選抜総選挙のおいしさが素晴らしい名水部門で
全国1位に輝いた「おいしい秦野の水」



16 令和3年(2021年)
ヤビツ峠レストハウスを開設



18 令和4年(2022年)
新東名高速道路新秦野IC開通



19 令和4年(2022年)
県内初的女子野球タウンに認定



20 令和5年(2023年)
新たな産科有床診療所が開設



21 令和6年(2024年)
電子地域通貨
「OMOTANコイン」の
運用を開始



22 令和7年(2025年)
秦野市・伊勢原市共同消防指令センター開所式



23 令和7年(2025年)
ネイチャーポジティブ認証自治体認定書の授与



HADANO HISTORY

- 平成 19 年 (2007 年) ●「南が丘砂口線(市道81号線)」が開通
 - 表丹沢野外活動センターを開設
 - 上智短期大学(現在の^{上智大学短期大学部})との提携事業を開始
 - 全国で初めて市役所の敷地内にコンビニエンスストアを誘致 **9**
- 平成 20 年 (2008 年) ●「秦野市平和の日」を制定
- 平成 22 年 (2010 年) ●天皇皇后両陛下をお迎えし、県立秦野戸川公園で第 61 回全国植樹祭を開催 **10**
 - 都市計画道路「渋沢駅前落合線(市道23号線)」の一部が開通
- 平成 23 年 (2011 年) ●「鶴巻温泉 弘法の里湯」が新たな源泉「つるまき千の湯」を引き込み、リニューアル
- 平成 24 年 (2012 年) ●大根川ポンプ場が完成
- 平成 25 年 (2013 年) ●はだのグリーンセンターが本格稼働 **11**
 - 県立西部総合職業技術校(かなテクカレッジ西部)が開校
 - 第 19 回全国報徳サミット秦野市大会を開催 **12**
- 平成 27 年 (2015 年) ●市制施行 60 周年
 - 県内一長い桜並木の愛称を「はだの桜みち」に決定 **13**
 - 秦野消防創立 50 周年
 - 秦野駅構内に観光案内所が開設
- 平成 28 年 (2016 年) ●「おいしい秦野の水～丹沢の雫～」が、名水百選選抜総選挙のおいしさが素晴らしい名水部門で全国第 1 位に輝く **14**
- 平成 29 年 (2017 年) ●「名水はだの富士見の湯」を開設
 - 「曾屋水道」が近代水道施設として全国初の国登録記念物(遺跡関係)に登録
- 令和 2 年 (2020 年) ●旧戸川家住宅主屋(緑水庵)が国登録有形文化財(建造物)に登録
 - 県立秦野戸川公園内に、はだの丹沢クライミングパークを開設 **15**
 - 桜土手古墳展示館を「はだの歴史博物館」にリニューアル
- 令和 3 年 (2021 年) ●震生湖が国登録記念物(動物、植物及び地質鉱物関係)に登録
 - 表丹沢の新たな拠点「ヤビツ峠レストハウス」を開設 **16**
 - 43 年ぶりに改定した新たな都市像「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしよい都市」と共に「総合計画はだの 2030 プラン」がスタート
 - 市学校給食センター(はだのちきキッチン)が完成し、中学校完全給食を開始 **17**
- 令和 4 年 (2022 年) ●「鶴巻温泉 弘法の里湯」が累計入館入浴者 300 万人を突破
 - 新東名高速道路の新秦野 IC と秦野丹沢スマート IC が開通 **18**
 - ねりんピック2022 をカルチャーパークで開催(弓道・軟式野球)
 - 県内初的女子野球タウンに認定 **19**
- 令和 5 年 (2023 年) ●関東大地震の遺構「震生湖」誕生 100 周年
 - 新たな産科有床診療所が開設 **20**
- 令和 6 年 (2024 年) ●「名水復活宣言」20 周年
 - パサデナ市との姉妹都市提携 60 周年を記念し、訪問団による演奏会や交流会を開催
 - 第 40 回全国削ろう会秦野大会を開催
 - 電子地域通貨「OMOTANコイン」の運用を開始 **21**
- 令和 7 年 (2025 年) ●市制施行 70 周年
 - 秦野市・伊勢原市共同消防指令センターを開設 **22**
 - 1都3県(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)で初のバイオマス産業都市に認定
 - 生物多様性の損失を止め、自然を回復させる「ネイチャーポジティブ」実現を推進する自治体として、県内初、全国で2例目となる認証を取得 **23**